

事業所名

放課後等ディサービス ぼの

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

18 日

法人（事業所）理念		～みんなで育ち みんなでそだてる～ 農業＋福祉 農福連携型の放課後等ディサービス ぼの								
支援方針		自然と触れ合いながら好きなこと・得意なことを伸ばし、お子様の可能性を広げるお手伝いを致します ・畑で育てた野菜を食べて食への学びに ・農業を通じて仕事の基礎を理解する ・土を育てながら考える力を育む ・野菜や花を育て収穫する達成感から自信をつける								
営業時間		10 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	野菜作りや収穫の体験を通じて、好き嫌いをなくし健康で丈夫な体を育てます 収穫した野菜を使用した調理実習を通しての食育活動を行います 食品の扱い方や衛生意識を育てます 基本的な生活スキル（挨拶、衣類の着脱、排泄、手洗いうがい、片づけ等）を習得できるようサポートします 家庭や学校からの申し送りの確認 通所時の体温測定や活動中の健康観察を行い、心身の健康状態を把握します								
	運動・感覚	様々な農具に触れることにより、補助手段の活用法を学びます 農作業の動作を繰り返すことにより、体の使い方や適切な動作を習得します 始まりの会、終わりの会、自立活動作業を通じて座の姿勢の保持する力を養います 着席して集中する時間とリラックスする時間を有効に使い自身の心と身体をコントロールしながら活動を行えるよう支援します								
	認知・行動	野菜を見て、触って、育て、食べることは保有する感覚、視覚、触感などの感覚を活用して、食の知識や食を選択する能力を養います 仲間と一緒に体を動かし相手の体の使い方や動きを見て、適切な動作を理解しその場に合った行動が取れるよう支援します 1日の流れをホワイトボードに記載しわかりやすい方法で伝え見通しが持てるよう支援します								
	言語 コミュニケーション	野菜の観察記録を行い成長状況や自分が感じたこと、思ったことなどを発表する機会を設けます 発達に合わせて言葉の理解、表出が豊かになるようまた文字を読む力や書く力が向上するよう支援します 言葉だけではなくジェスチャー、絵カードなど個人に合わせた方法を考えます コミュニケーション手段の活用 SST ロールプレイ 発表する機会の場を提供します								
	人間関係 社会性	協力して野菜を育て、収穫した野菜を食べる喜びや達成感を共感します 集団活動を通しルールや順番を守ることや協調した関わりを持てるよう支援しますまた、他者とのやりとりの場を提供し職員が間に入り援助、支援します 始まりの会や活動時の事前説明を受けることで見通しを持ち安心感が持てるようにします 地域の公共施設や公園などに出向き、そこでのルールやマナーを身に付け社会性を育みます								
家族支援		定期的な面談（モニタリング）を行い利用者の家族や兄弟等に対し、職員が必要に応じて相談援助を行います。 安心してご利用して頂けるよう日々の様子や体調の変化等気づいたことをお知らせします。				移行支援		卒業後の進路に向けて各関係機関と連絡調整を図ります 学校との連携を図り、支援体制を構築していきます 地域の施設への外出や買い物などを通して、地域社会で必要なスキルや交通ルールを学ぶ機会を作ります		
地域支援・地域連携		地域事業所連絡会に参加 情報交換、情報共有 学校との情報共有、専門機関センター等と連携し支援につなげていきます 放課後児童クラブ、児童館との交流、地域の子供と活動する機会を提供いたします				職員の質の向上		定期的な療育会議、職員会議、相談援助、活動会議の実施 社内外の研修へ定期的に参加し支援の質の向上 各種資格取得研修への参加		
主な行事等		季節行事（初詣 節分 お花見 水遊び プール 夏祭り ハロウィン クリスマス 卒業式） 外出活動（長期休み期間） 外部講師による創作や体験								